

2022年国際ジェンダー学会研究活動奨励賞（第3回）の授賞者が決定しました。

国際ジェンダー学会では、専任ないし正規雇用契約をもたず、研究財源の確保に困難をかかえている若手会員の研究活動を支援することを目的に、「国際ジェンダー学会研究活動奨励賞」を2020年度に創設しました。

2022年国際ジェンダー学会研究活動奨励賞には12名の応募がありました。実施要綱に基づき、審査委員会で厳正に審査した結果、以下の5名の方に授与することとなりましたのでご報告します。

1. 郭立夫（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）
「『寒冬の季節』の闘争—中国における性的マイノリティ運動の再考」
2. 児玉谷レミ（一橋大学大学院社会学研究科博士課程）
「ポスト近代の軍隊としての自衛隊の軍事的男性性の構築—自衛官たちの語りから」
3. 新倉久乃（フェリス女学院大学大学院博士後期課程）
「タイ女性の高齢期のライフプランへの来日経験の影響—在日タイ女性と帰国したタイ女性の語りから」
4. 文可依（東京大学大学院総合文化研究科修士課程）
「中国のフェミニズム行動派の運動におけるフェミニズムの政治と性的マイノリティ」
5. 山本沙希（立教大学異文化コミュニケーション学部ポストドクトラル・フェロー）
「現代マグリブ女性の起業実践と法—『手工芸職人証明書』発行制度とのかかわりから」

なお、国際ジェンダー学会研究活動奨励賞の募集は毎年実施します。詳細は <http://isgsjapan.org/activity.html> に掲載されていますのでご覧ください。

2022年4月11日

研究担当理事 伊藤るり